

国際経営，国際人的資源管理，グローバルタレント マネジメント



経営情報学科 **笠原 民子**

●連絡先 TEL.054-264-5435 FAX.054-264-5435



国際経営，国際人的資源管理，グローバルタレントマネジメント

経営活動のグローバル化の進展に伴い、国際市場でビジネス展開を図っている多国籍企業にとって、進出先国の人材をいかにマネジメントし、グローバルな競争優位を構築するかということが喫緊の課題となっています。特に、日本企業は進出先国の現地人材、特に経営幹部層以上のマネジメントに苦戦しているといわれています。国際人的資源管理、タレントマネジメントの視点から、多国籍企業(製造業、サービス業)を対象に研究を重ねています。直近の研究テーマは、新興国市場における日系多国籍企業のタレントマネジメントです。

研究成果

笠原民子(2016)「第7章国際人材育成」(pp.104-120)、「第8章国際報酬」(pp.121-136)、「第10章国際労使関係」(pp.152-168)、『国際人的資源管理』関口倫紀、竹内規彦、井口知栄編著、中央経済社。

Kasahara, T. (2016) “Omission from Talent Pool? Challenges in Japanese Companies’ Global Talent Management” pp.1-42, presented at the Annual Conference of AIB (Academy of International Business), Sheraton New Orleans, Louisiana, USA, 29 June 2016.

笠原民子(2014)『日本企業のグローバル人的資源管理』白桃書房。

※本研究成果は科学研究費補助金(研究成果公開促進費：学術図書)の出版助成を受け出版されたものである。また、第6回2014年度多国籍企業学会単行本の部学術研究奨励賞を受賞。

笠原民子(2013)「日本企業における経営現地化の諸課題：HRMシステム改革の重要性」『アジア経営研究』No.19,pp.99-110(査読付き)。

笠原民子・西井進剛(2013)「知識集約型企業のグローバル人的資源管理」『多国籍企業研究』第6号, pp.19-41(査読付き)。

アピール
ポイント

海外子会社が抱えている人材マネジメント上の課題、また、海外派遣者に関わるマネジメント上の課題等について知見を共有し、何らかの解決策を提示できればと願っております。